

胸腰椎に対する体幹部定位放射線治療における照射中固定制度の評価

1. 研究の対象

2022 年 4 月から 2023 年 12 月までに胸腰椎に対する体幹部定位放射線治療を受けられた方

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2025 年 3 月 31 日

研究目的： 椎体に対する体幹部定位放射線治療 (SBRT) は、有痛性脊椎転移に対する治療法です。脊椎転移に対して脊髄の耐容線量を超える高線量を限定的に照射する技術です。したがって、椎体に対する SBRT では、椎体の正確な位置照合が要求されます。患者の解剖学的な画像を提供するコーンビーム CT (CBCT) は、セットアップの再現性と患者の治療位置の信頼性を向上させます。椎体の位置の変動は臨床的に重要で、より良いセットアップ精度を求めて、様々な固定具がこれまで検討されてきました。本研究では、サーモプラスチックシェルとバルーンを組み合わせた新しい固定具を検討しました。新しい固定具の有効性を評価するために、セットアップ誤差を既存の固定具と比較します。

研究方法： 対象は、2022 年 4 月から 2023 年 12 月までに大阪国際がんセンターで胸腰椎に対する体幹部定位放射線治療を受けられた患者さんです。既存の固定具で治療した 42 名、新しく採用した固定具で治療した 16 名の患者さんを登録します。治療中の CBCT 画像から、治療中におけるセットアップ誤差を算出し、新しい固定具と既存の固定具との比較を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

治療計画 CT 画像、コーンビーム CT 画像

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 神村 和志 (研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上